



平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サイバーエージェント

コード番号 4751 URL <http://www.cyberagent.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤田 晋

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 中山 豪

TEL 03-5459-0202

四半期報告書提出予定日 平成25年2月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第1四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	40,825	27.0	1,543	△68.6	1,622	△66.8	3,251	58.3
24年9月期第1四半期	32,146	11.7	4,915	38.1	4,888	40.0	2,054	39.7

(注) 包括利益 25年9月期第1四半期 3,395百万円 (61.5%) 24年9月期第1四半期 2,103百万円 (16.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	5,022.10	—
24年9月期第1四半期	3,169.23	3,168.14

(注) 25年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、希薄化効果を有する株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第1四半期	141,522	45,770	30.3
24年9月期	136,366	43,594	30.6

(参考) 自己資本 25年9月期第1四半期 42,936百万円 24年9月期 41,767百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	3,500.00	3,500.00
25年9月期	—	—	—	—	—
25年9月期(予想)	—	0.00	—	3,500.00	3,500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	170,000	20.5	10,000	△42.6	10,000	△41.7	12,000	40.8	18,535.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

第2四半期累計期間の業績予想は行っておりません。詳細は、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年9月期1Q	652,497 株	24年9月期	652,497 株
25年9月期1Q	4,833 株	24年9月期	5,125 株
25年9月期1Q	647,389 株	24年9月期1Q	648,172 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	5
(3) 追加情報.....	5
3. 四半期連結財務諸表.....	6
(1) 四半期連結貸借対照表.....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第1四半期連結累計期間.....	8
四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結会計期間.....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	10
(4) 継続企業の前提に関する事項.....	11
(5) セグメント情報.....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	13
(7) 重要な後発事象.....	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

スマートフォン出荷台数は、平成24年度3,110万台（総出荷台数の73.3%）、平成25年度3,510万台（総出荷台数の80.3%）と予測されており、スマートフォンへの移行がますます加速する見通しです（注1）。スマートフォンの急速な普及に伴いコンテンツ配信市場が拡大しており、平成24年度は1.6兆円、平成29年度には約2.0兆円に達するものと予測されております。特にソーシャルゲーム市場が急成長しており、平成24年度は5,385億円、平成25年度には6,150億円に拡大すると見込まれております（注2）。

このような環境のもと、当社グループは、注力事業のスマートフォン向けコミュニティ&ゲームSNS「Ameba」の本格始動とともに、TVCMや交通広告等の大規模なプロモーションを展開する等、スマートフォン関連事業に経営資源を集中してまいりました。その一方で、FX事業の売却（1月31日に売却完了）を決定する等の事業再編も進めてまいりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は40,825百万円（前年同期比27.0%増）、営業利益は1,543百万円（前年同期比68.6%減）、経常利益は1,622百万円（前年同期比66.8%減）、四半期純利益は3,251百万円（前年同期比58.3%増）となりました。

出所 （注1）(株)MM総研 （注2）(株)野村総合研究所

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①Ameba関連事業

Ameba関連事業には、Ameba、アメーバピグ、AMoAd等が属しております。

当事業におきましては、スマートフォン向けコミュニティ&ゲームSNS「Ameba」の成功に向け、約30億円の大規模なプロモーション展開や前期までインターネット広告事業（旧ネットビジネス総合事業）に属していたスマートフォンメディアの新規開発事業の統合等を行ったため、売上高は6,561百万円（前年同期比7.9%増）、営業損益は3,102百万円の損失計上（前年同期間1,749百万円の利益計上）となりました。

②SAP・その他メディア事業

SAP・その他メディア事業には、(株)Cygames、(株)アプリボット、(株)サムザップ等のグループ会社におけるSAP（ソーシャルゲーム）事業、(株)シーエー・モバイル等が属しております。

当事業におきましては、SAP事業の国内、海外における積極展開等により、売上高は15,750百万円（前年同期比65.6%増）、営業損益は1,011百万円の利益計上（前年同期比11.2%増）となりました。

③インターネット広告事業

インターネット広告事業には、当社のインターネット広告事業本部を中心とした広告代理事業やSEM（検索エンジンマーケティング）等が属しております。

当事業におきましては、スマートフォン広告の順調な販売等により、売上高は18,876百万円（前年同期比13.4%増）、営業損益は1,931百万円の利益計上（前年同期比57.3%増）となりました。

④投資育成事業

投資育成事業には当社のコーポレートベンチャーキャピタル事業、(株)サイバーエージェント・ベンチャーズにおけるファンド運営等が属しており、キャピタルゲインを目的とした国内及びアジア圏の有望なベンチャー企業の発掘・育成・価値創造等を行っております。

当事業におきましては、保有株式の売却等により、売上高は889百万円（前年同期比1,566.3%

増)、営業損益は628百万円の利益計上(前年同期69百万円の損失計上)となりました。

⑤FX事業

FX事業には、(株)サイバーエージェントFXにおける外国為替証拠金取引が属しております。

口座開設数や預り資産が堅調に増加したものの、売上高は1,896百万円(前年同期比6.5%減)、営業損益は1,074百万円の利益計上(前年同期比2.1%減)となりました。

なお、当事業につきましては、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 追加情報」に記載のとおり、平成25年1月31日に売却しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(財政状態)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は141,522百万円(前連結会計年度比5,156百万円の増加)となりました。これは、主にFX事業における預り資産残高の順調な増加に伴い、外国為替取引顧客預託金が増加したことによるものであります。

負債は95,752百万円(前連結会計年度比2,980百万円の増加)となりました。これは、主に流動負債のその他に含まれるFX事業における外国為替取引顧客差金が増加したことによるものであります。

純資産は45,770百万円(前連結会計年度比2,175百万円の増加)となりました。これは、主に四半期純利益の計上及び配当金の支払に伴い利益剰余金が増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末と比べて980百万円増加し、20,229百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは838百万円の減少(前年同期間は2,957百万円の増加)となりました。これは、主に利益の計上及び法人税等の支払によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは4,005百万円の増加(前年同期間は1,918百万円の減少)となりました。これは、主に関係会社株式の売却によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは2,456百万円の減少(前年同期間は1,070百万円の減少)となりました。これは、主に配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期は、スマートフォン向けコミュニティ&ゲームSNS「Ameba」の成功に向け、インターネット広告事業（旧ネットビジネス総合事業）に属していたスマートフォンメディアの新規開発事業をAmebaに統合する一方で、FX事業を売却（㈱サイバーエージェントFX株式の全株を売却）する等の事業再編を進めております。

売上高につきましては、AmebaやSAP事業を中心としたスマートフォン課金の拡大やインターネット広告におけるスマートフォン広告の成長等により170,000百万円と予想しております。

営業利益につきましては、第1四半期にAmeba事業において約30億円の大規模プロモーション等の戦略的な投資を実施したことにより一時的に収益が低下しましたが、第2四半期以降は、FX事業の売却による影響があるものの、スマートフォン課金・広告の収益貢献等が見込まれることから、通期の営業利益は10,000百万円と予想しております。

当期純利益につきましては、FX事業の売却益及び㈱Cygames株式の一部売却に伴う売却益の特別利益計上等により12,000百万円と予想しております。

中間業績の見通しにつきましては、インターネットを取り巻く環境の変化が激しく、当社グループの業績も短期的に大きく変動する可能性があること等から開示しておりません。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(株)サイバーエージェントFXの株式売却)

平成24年9月期において、重要な後発事象として記載した平成24年12月12日開催の取締役会決議に基づく連結子会社である(株)サイバーエージェントFXの全株式の譲渡について、平成25年1月31日に譲渡を完了いたしました。

なお、本売却により(株)サイバーエージェントFXは、当社の子会社ではなくなります。

① 売却の理由

スマートフォン向けコミュニティ&ゲームSNS「Ameba」を注力事業とし、インターネット広告事業、SAP事業、投資育成事業を中心に事業展開していくため、株式の全てを譲渡いたします。

② 売却先の名称

ヤフー(株)

③ 売却の時期

平成25年1月31日

④ 売却する連結子会社の概要

- i 名称：(株)サイバーエージェントFX
- ii 事業内容：FX（外国為替証拠金取引）事業
- iii 取引関係：広告取引
- iv 財政状態（平成24年12月末時点）

総資産	77,542百万円
負債	67,919百万円
純資産	9,623百万円

⑤ 売却する株式の数、譲渡価額、譲渡損益及び譲渡後の持分比率

- i 売却する株式の数：普通株式 16,200株
- ii 売却価額：21,000百万円
- iii 売却益：約10,000百万円の特別利益を見込んでおりますが、平成25年1月31日時点における(株)サイバーエージェントFXの純資産等により変動いたします。
- iv 売却後の持分比率：0.00%

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,925	21,834
受取手形及び売掛金	21,192	21,629
たな卸資産	92	138
営業投資有価証券	3,638	4,029
外国為替取引顧客預託金	51,644	59,005
外国為替取引顧客差金	12,252	8,121
その他	6,570	6,297
貸倒引当金	△46	△40
流動資産合計	116,268	121,016
固定資産		
有形固定資産	3,825	4,194
無形固定資産		
のれん	2,991	3,076
その他	7,027	7,207
無形固定資産合計	10,019	10,284
投資その他の資産		
その他	6,305	6,074
貸倒引当金	△53	△48
投資その他の資産合計	6,252	6,026
固定資産合計	20,097	20,505
資産合計	136,366	141,522
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,226	12,776
短期借入金	220	—
未払法人税等	4,711	3,158
外国為替取引顧客預り証拠金	63,468	63,882
その他	10,952	14,947
流動負債合計	91,579	94,764
固定負債		
社債	100	100
長期借入金	315	52
勤続慰労引当金	122	156
資産除去債務	624	663
その他	24	10
固定負債合計	1,187	982
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	4	4
特別法上の準備金合計	4	4
負債合計	92,771	95,752

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,203	7,203
資本剰余金	5,400	5,391
利益剰余金	30,379	31,365
自己株式	△1,388	△1,309
株主資本合計	41,595	42,651
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	310	302
為替換算調整勘定	△138	△17
その他の包括利益累計額合計	171	285
新株予約権	121	118
少数株主持分	1,705	2,714
純資産合計	43,594	45,770
負債純資産合計	136,366	141,522

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	32,146	40,825
売上原価	19,119	25,935
売上総利益	13,026	14,890
販売費及び一般管理費	8,110	13,346
営業利益	4,915	1,543
営業外収益		
受取利息	6	6
為替差益	—	77
持分法による投資利益	7	11
その他	27	37
営業外収益合計	41	132
営業外費用		
支払利息	8	11
消費税等調整額	29	27
その他	30	14
営業外費用合計	68	53
経常利益	4,888	1,622
特別利益		
関係会社株式売却益	—	6,068
その他	25	260
特別利益合計	25	6,328
特別損失		
減損損失	94	1,055
その他	54	199
特別損失合計	148	1,255
税金等調整前四半期純利益	4,766	6,695
法人税、住民税及び事業税	1,939	3,193
法人税等調整額	710	245
法人税等合計	2,649	3,438
少数株主損益調整前四半期純利益	2,116	3,256
少数株主利益	62	5
四半期純利益	2,054	3,251

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,116	3,256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	35
為替換算調整勘定	13	63
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	39
その他の包括利益合計	△13	138
四半期包括利益	2,103	3,395
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,039	3,364
少数株主に係る四半期包括利益	63	30

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,766	6,695
減価償却費	619	1,019
のれん償却額	84	97
減損損失	94	1,055
為替差損益(△は益)	△2	△203
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△6,068
売上債権の増減額(△は増加)	△1,065	△594
外国為替取引預け委託保証金の増減額(△は増加)	1,499	△0
外国為替取引未決済額の純増減額(△は増加)	1,087	△214
仕入債務の増減額(△は減少)	267	571
未払金の増減額(△は減少)	△828	292
未払消費税等の増減額(△は減少)	△228	△158
その他	1,020	1,382
小計	7,316	3,877
利息及び配当金の受取額	2	4
利息の支払額	△6	△11
法人税等の支払額	△4,355	△4,708
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,957	△838
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△235	—
定期預金の払戻による収入	205	72
有形固定資産の取得による支出	△671	△1,070
無形固定資産の取得による支出	△1,271	△1,830
投資有価証券の売却による収入	174	370
関係会社株式の売却による収入	—	6,814
その他	△118	△350
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,918	4,005
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△220
長期借入金の返済による支出	△348	△250
少数株主からの払込みによる収入	105	254
配当金の支払額	△2,288	△2,271
自己株式の取得による支出	△1,999	—
自己株式の処分による収入	439	47
自己株式取得目的の金銭の信託の払戻による収入	3,002	—
その他	19	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,070	△2,456
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	269
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△25	980
現金及び現金同等物の期首残高	18,108	19,248
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,083	20,229

(4) 継続企業の前提に関する事項

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	Ameba関連	SAP・その他 メディア	インターネット 広告	投資育成	FX	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	4,709	9,229	16,125	53	2,027	32,146	—	32,146
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,371	282	522	0	—	2,177	△2,177	—
計	6,080	9,512	16,648	53	2,027	34,323	△2,177	32,146
セグメント利益又は 損失（△）	1,749	909	1,227	△69	1,097	4,915	—	4,915

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	Ameba関連	SAP・その他 メディア	インターネット 広告	投資育成	FX	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	4,927	15,547	17,565	889	1,896	40,825	—	40,825
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,634	202	1,311	0	—	3,148	△3,148	—
計	6,561	15,750	18,876	889	1,896	43,974	△3,148	40,825
セグメント利益又は 損失（△）	△3,102	1,011	1,931	628	1,074	1,543	—	1,543

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

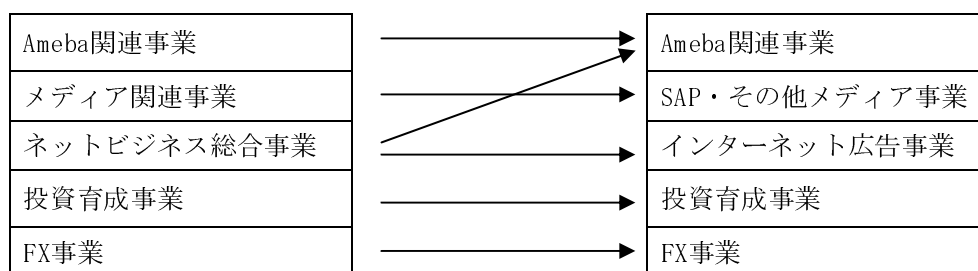
当社グループでは、前期よりスマートフォン関連事業に経営資源を集中してまいりました。当期につきましても、スマートフォン向けコミュニティ&ゲームSNS「Ameba」の成功に引き続き注力し、従来以上に経営資源をスマートフォン関連事業に集中するため、事業再編等の経営資源配分の見直しを行いました。この再編に伴い、以下のとおり、社内業績管理体制をベースにした新たな報告セグメントに変更しました。

なお、変更後の報告セグメントに基づいた前第1四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は「Ⅰ 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年10月1日至 平成23年12月31日）」に記載しております。

- ① 従来の「ネットビジネス総合事業」に属していたスマートフォンメディアの新規開発事業等を「Ameba 関連事業」に統合し、「ネットビジネス総合事業」の名称を「インターネット広告事業」へ変更しました。
- ② 従来の「メディア関連事業」につきましては、ソーシャルゲーム事業の拡大等の事業の実態に合わせ、名称を「SAP・その他メディア事業」に変更しました。

【旧セグメント】

【新セグメント】



3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「SAP・その他メディア」、「Ameba関連」、「インターネット広告」セグメントにおいて、一部サービスの収益性の低下及び事業再編に伴うサービスの廃止等により当初想定していた収益が見込めなくなったため、減損損失として特別損失に計上しました。なお、当第1四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、下表のとおりであります。

SAP・その他メディア	1,015百万円
Ameba関連	33百万円
インターネット広告	7百万円
合計	1,055百万円

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

(自己株式の取得について)

平成25年1月31日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行し、資本効率の向上を図るため。

2. 取得の内容

①取得する株式の種類 当社普通株式

②取得する株式の総数 33,000株(上限)

(平成24年12月31日現在の発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合5.10%)

③株式の取得価額の総額 50億円(上限)

④自己株式取得の日程

平成25年2月1日から平成25年3月29日まで